

## 「リズム・表現運動」

### 【ねらい】

- リズム・表現遊びを楽しむことができる。
- リズムに合わせて体を動かすことができる。
- 真似をして体を動かしたり、自分の思ったようなポーズ・動きを取ったりすることができる。

### 【学習の流れ】

1. 活動内容の確認をする。
2. 本時のめあてを決める。
  - ・ものまね名人になろう。
  - ・全身を目いっぱい動かそう。
  - ・ポイントを意識して取り組もう。
  - ・リズムに乗って体を動かす活動を楽しもう。
  - ・リズム運動に挑戦しよう。
  - ・友達の良さを見つけよう。※児童の実態に合わせてめあてを設定します。
3. リズム・表現運動をする。
  - 〈模倣表現運動〉
    - ・新聞紙になりきろう
    - ・まねっこ列車
    - ・だるまさんが〇〇をした
    - ・動物歩き
    - ・ジェスチャーゲーム
  - 〈リズム運動〉
    - ・リズム手遊び
    - ・ぐるぐる決めポーズ
    - ・バランスボールエクササイズ
    - ・うさぎとかめ
    - ・リズムジャンプ※上記の中から、児童の実態に応じて教員が選択して行います。また、内容を変更して行うこともあります。
4. 振り返りをする。

自分のめあてについて振り返りを行う。

### 担任の先生・保護者の皆様へ

今週の小集団学習では、「リズム・表現運動」を行いました。リズム・表現運動では、児童の実態に応じて、真似をして体を動かす「模倣表現運動」と、音楽やリズムに合わせて体を動かす「リズム運動」を組み合わせて指導しました。全身を使って目いっぱい体を動かすことで、自分の体の輪郭を意識することや、力の入れ具合を把握するボディーイメージを養うことができます。また、表現することが苦手な児童でも、「小集団ならみんなの前でやってみようかな」「言葉での発表は難しいけど、体での表現なら楽しくできる」など、児童に合わせた小さな目標を立てることで、自分を表現するきっかけになればと思います。

表現・リズム運動は全身をたくさん動かせるだけでなく、気分も高まります。得意な児童も苦手な児童も、楽しく運動経験を積むことができるよう指導していきます。